

つながる ひろがる おりなす  
アートには地域の未来を変える力があります



## AMO2026 出品受付開始

ARTS MEET OKITAMA2026 の申込受付が始まっています。今回も、皆様の創意あふれる作品をお待ちしております。詳細は出品要項をご覧ください。

### 10回記念展は・・・

10回の節目となる今回は、これまでを振り返りながら、これからの新たな一歩につながるような展覧会にできるよう準備を進めています。

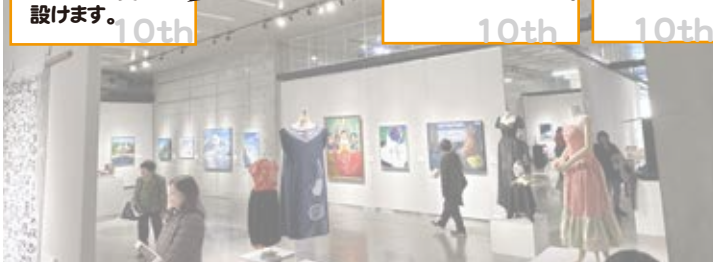
毎回出品している方も、初めての方も、もう一度出品してみようかな、という方も、ぜひ皆さんの力で AMO と置賜のアートを盛り上げて行きませんか？

AMO 大賞、  
若手アーティスト  
奨励賞に加え、  
10回記念賞を  
設けます。

皆様の  
エントリーを  
お待ちしております！

これまでを振り  
返るメモリアル  
コーナーの設置や、  
動画の上映を予定。

10回連続  
出品の方を  
表彰します。



### AMO2026 スケジュール

出品申込締切 令和8年 **1月15日(木)** 【厳守】

出品票締切 2月12日(木)  
展 示 3月11日(水)～21日(土)  
授賞式 3月22日(日)

テーマ部門「<sup>とき</sup>時」

◇申込は、持参、郵送、ファックス、メール、専用受付フォームからお願いいたします。  
◇持参以外は、折返し受付完了の連絡をします。  
◇出品申込書は、出品者自身でコピーをとるなど控えをお手元に残して下さい。

# ARTS MEET OKITAMA

## だより秋号 VOL.11

2025 年 10 月

よねざわ市民ギャラリーと「ARTS MEET OKITAMA」の情報をお届けします。

## AMO2025 大賞展へ向けて

AMO2025 大賞受賞者の新野裕美さんと大賞展へ向けて準備を進めています。

国画会 準会員、県美連会員として制作活動を行っている新野さんは、油彩、アクリル、水彩、テンペラ画と様々な技法で作品制作を行っています。大賞展へむけて卒業制作などの初期作品、たんぼぼやまつぼっくりなどの「種」を描いたシリーズ、現在の「紕(まゆ)う」シリーズといった100号を超える大作の中から、出品作品を選定しています。その時々で違う表情を見せる新野さんの作品は、鑑賞者によっても違う見方ができる楽しさがあります。

1回目の打ち合わせでは、作品アルバムを拝見しながら、作品への想いなどの制作背景をお聞きして、展示の構想を相談しています。静かで繊細な作品の裏に込められた想いなどが展示を通して伝わるよう、担当者も新野さんとともに準備を進めています！

「絵は見る人によって様々な見方ができます。作家の思いとは全く違った見方をする方もいらっしゃいます。私はそれがとても面白いと思うのです。」



1回目の打ち合わせの様子

## AMO2025 大賞、若手アーティスト奨励賞作家の作品を 「ミナミハラアートウォーク」で展示

9月20日(土)～9月28日(日)

ミナミハラアートウォークにて、AMO2025 受賞作家 4 名の作品を南原コミュニティセンターに展示させていただき、多くの方々に見ていただくことができました。また、AMO2026 でも置賜文化フォーラム事業として若手アーティストによるワークショップを企画中です。



## 国展 100 回記念 五部門合同の展示企画 作家の新たな出会い

山形、そして米沢ゆかりの作家と関係の深い美術団体「国画会」の 100 回展を記念した展覧会として開催しました。「創造の自由」を標榜する団体らしく、多彩な技法と表現で、見る人を圧倒させる作品が並びました。

会期中は出品作家 8 名のギャラリートークや造形ワークショップも開催し、多くの方に「今を生きる」作家と作品に親しんでいただきました。

### 【アンケートより】

・久しぶりに現代美術のおもしろさを味わった。何年に 1 回か巡回してもらいたい。(米沢の) 美術界に少しでも新しい風を入れてもらうためにもこの企画は良かったと思う。

・毎年 4 月に米沢に来てから、こうした展覧会に足を運ぶことが増えました。作者の命の吹き込まれた作品を鑑賞する度、「米沢に来てよかった」と思えます。これからも、このような催しを楽しみにしております。私は全然、「目」をもっておりません。目を養うために、生み出す側にはなれない私でも、せめて生み出されたものを受け取る側としての役割を果たせるように、私にできることをします。これからもできる限り、足を運びます。



## OPEN GALLERY

ナセBA Yonezawa Citizens Gallery X Uesugi Museum Art Collection

エレベーターホールを  
中心に米沢市上杉博物館の  
収蔵品を展示しています。

開催中 ～ 10 月 22 日 (水)

### 「米沢と国画会ゆかりの作家たち」

#### 次回予告

10 月 25 日 (金) ～ 令和 8 年 1 月 22 日 (水)

河童洞コレクション

#### 「郷土玩具の世界①」

令和 8 年 1 月 23 日 (金) ～ 4 月 22 日 (水)

#### 「郷土玩具の世界②」

日本各地の地域色豊かな郷土玩具を二期にわたり紹介します。  
ぜひ足をとめてご覧ください。



### 市民ギャラリーについて

当ギャラリーは、市民の皆様の美術作品の発表及び鑑賞、市民文化の交流の場として利用しやすい施設を目指しています。芸術文化活動の拠点として、また、様々な芸術文化に親しめるギャラリーを皆様と共に育んで参ります。

自主事業では、4 つのコンセプトを念頭にオープンギャラリーの展示、企画展等を行っています。

- 米沢市上杉博物館と連携した展示
- 米沢市ゆかりの作家の作品展示
- 魅力ある企画展示
- 市民ギャラリーの利用促進や、市民の皆様様の芸術文化に寄与する展示

### 伝国の杜 米沢市上杉博物館からのお知らせ

#### ブルーノ・ムナリー展 美術に出会う前の美術



11 月 29 日 (土) ～ 令和 8 年 1 月 25 日 (日)

◇休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、  
年末年始(12/27～1/1)  
9:00～17:00(入館は16:30まで)

敷居が高い、よくわからないと思われがちな「美術」。ブルーノ・ムナリー(1907-1998)は、そんな「美術」の垣根を取り払い、日常の中にある形や、色、デザインの面白さや美しさに気づかせてくれるイタリアのアーティストです。

本展は、約 300 点の作品や資料を通じ、視覚的な要素による伝達力や日常の中にあるアートの種をかたちにする楽しさを実感してもらう展覧会です。言葉はいらない、もう一つのアートの力に気づくことができます。



▲ギャラリー HP QR



▲ギャラリー公式 X QR

主 催：米沢市上杉博物館  
企画協力：日本ブルーノ・ムナリー研究会、NPO 市民の芸術活動推進委員会  
後 援：イタリア大使館、一般社団法人日本芸術教育学会、山形新聞・山形放送

発行：よねざわ市民ギャラリー(公益財団法人米沢市上杉文化振興財団)  
〒992-0045 米沢市中央 1-10-6 TEL 0238-22-6400 FAX 0238-26-0036  
問合せ：伝国の杜 米沢市上杉博物館 TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660

ARTS  
MEET  
OKITAMA  
だより秋号 VOL.11  
2025 年 10 月